

データロガー No.1/4

商品コード	762-000000
適合	汎用 (12V 車用) ※バッテリーレス車装着不可
備考	USB ケーブル (USB MINI-B 端子) は付属していません。当社でも取り扱っておりませんので別途お問い合わせ下さい。

- この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。
- 装着後も当用紙をセッティングマニュアルとして、ご使用下さい。
- ※補修用単品パーツについては説明書が入っていませんので、この説明書は大切に保管して下さい。

■製品、装着について

- この製品は精密機器ですので、強い衝撃を与えたりしないで下さい。破損、故障の原因にもなります。また記載されていない追加加工や不正な取付、改造、仕様変更はしないで下さい。
- 組み立てミス等によるパーツ、その他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、点検作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- この説明書はノーマル状態に取り付けることを前提とした取付説明書です。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと併せて取付作業を進めて下さい。
- お気付きの点や、異常を発生した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。
- このメーターは競技用につき、速度警告灯は装備していません。速度警告灯装着車に使用の場合は一般公道で使用できません。
- このパーツは、競技用に開発されているため、車検が必要な車両に使用する場合、車検等に対応しない場合がありますので、ご了承ください。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。

製品概要	オートバイ走行時の、あらゆるデータを計測及び記録する装置です。 記録したデータは、マシンのセットアップや、ライディングスキルの向上等に、用いられます。 機種専用ではなく、汎用性を保つため、記録データ演算パラメータなどを、幅広くユーザーが設定可能です。
動作環境	12V バッテリー車専用です。6V バッテリー車、バッテリーレス仕様車、交流式 12V 電源の車両には作動しません。 また、バッテリーが弱っている場合、正常に作動しない場合がありますのでご注意ください。
注意事項 (必ずお読み下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ●誤動作、トラブルの原因になりますので、イグニッションコイル等、強度のノイズ発生源付近への本体の取り付け、配線は回避して下さい。 ●本製品は、電装系統がノーマルの状態下において、正常動作する物であり、それ以外の特殊な部品を装着された車両に対する、動作保障はいたしかねます。 (スパークプラグ・プラグキャップ・ハイテンションコード・イグニッションコイル等・HID・音響製品その他) ▼取扱いについて ●当製品は完全防水ではありません。雨天走行、洗車時等に集中的に水がかかると浸入する恐れがありますので、できるだけ避けて下さい。また車両保管時も雨が掛かる場所は避けて下さい。湿度の高い日はガラス面が曇る場合があります。 ●精密機器の為、振動等の多い所に設置しますと本来の性能を発揮できないばかりか最悪の場合、破損する恐れがあります。従ってメーターの装着には必ず防振対策を施すなど振動が伝わらない様に設置してください。またエンジン横にマウントしますと振動や熱などにより、誤動作する可能性があります。 ※熱や振動による故障は保障対象外となりますのでご注意ください。 ●当製品は、非分解式ですので決して分解は行わないで下さい。誤動作や故障の原因となります。

バックグリスト		
パーツ名	商品コード	個数
データロガー本体 (JT-01-A)	762-0000001	× 1
ギボシ (オス) CA104	755-0900610	× 3
ギボシ (メス) CB104	755-0900611	× 3
スリーブ (オス / マル) P-2.5	755-0900640	× 3
スリーブ (メス / マル) KS-2.5	755-0900641	× 3
OP : オプションパーツ (別売り)		
アンブレユニット	762-0000090	× 1

■製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は、同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理致します。但しそれ以外の故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。

110125 T-J



〒 577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740

仕様諸元 (記録可能データ以下のとおり)

項目	測定範囲	備考
電圧	10 ~ 18VDC	標準 バッテリー電圧を測定
速度	0 ~ 300km/h	標準 速度計測用センサ付属
回転	0 ~ 19900rpm	標準 ピックアップパルス等検出
温度 A	-5 ~ 150°C	オプションセンサ別売 要アンブレ回路ボックス
温度 B	-5 ~ 150°C	オプションセンサ別売 要アンブレ回路ボックス
空燃比	17.0 ~ 12.4	オプションセンサ別売 要アンブレ回路ボックス
ストローク	0 ~ 120mm	オプションセンサ別売 要アンブレ回路ボックス
アナログ A	0 ~ 5VDC	要アンブレ回路ボックス
アナログ B	0 ~ 5VDC	要アンブレ回路ボックス
ラップタイム	10 秒 ~ 59 分 59 秒 99	標準 マグネット検出センサ付属

※オプションセンサは、専用のセンサとして、別途販売
※オプション品を接続するには、オプションセンサ接続用、アンブレ回路ボックスが別途必要。
データの記録周期は、最短 0.1sec ~ 1sec

参考記録時間

データ数	データ記録周期 [sec] 秒									
	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1
3	227	454	682	909	1136	1363	1590	1817	2045	2272
4	170	341	511	682	852	1022	1193	1363	1533	1704
5	136	273	409	545	682	818	954	1090	1227	1363
6	114	227	341	454	568	682	795	909	1022	1136
7	97	195	292	389	487	584	682	779	876	974
8	85	170	256	341	426	511	596	682	767	852
9	76	151	227	303	379	454	530	606	682	757

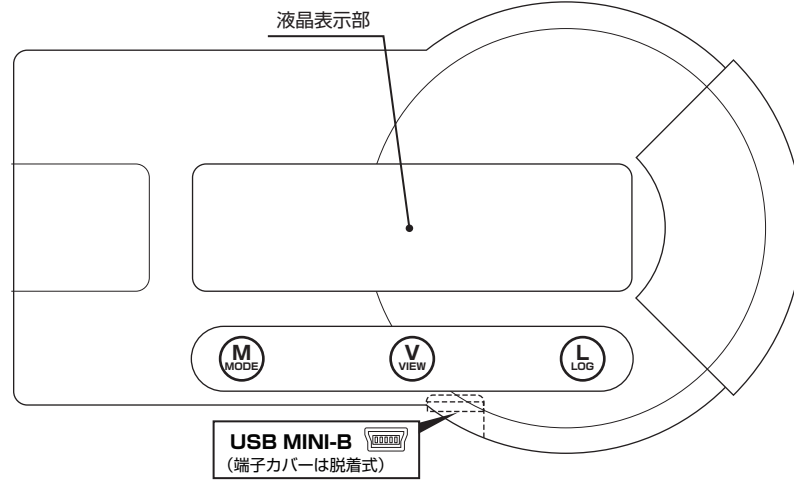
↑ 単位は [min] 分

※記録の際、電圧、速度、回転データは必ず取得します。

各ボタンの名称・各ボタンによる操作機能

名称 (ボタン)	計測モード	設定モード	削除モード
MODE	各項目変更 / バックライトの ON/OFF : 長押し (約 2 秒)		
VIEW	表示変更	数値入力及びチェック入力	
LOG	開始 / 停止	決定	

USB MINI-B 端子 USB ケーブル (付属していません) を介してパソコンと本体の記録データ通信時にご使用下さい。(使用しない時は必ず端子カバーで閉じて下さい。カバー無しで使用すると、水等が浸入し故障の原因となります)

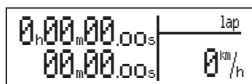
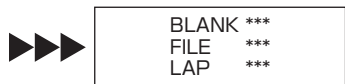


データロガー No.2/4

商品コード 762-0000000

起動画面 ※イグニッションキーをON(液晶パネルが表示された状態)で行って下さい。

電源投入後、LCDは以下の様に表示を行う。



ロゴ (キタコ) を表示します。

内部メモリの状態を示します。

BLANK : 残りの記録領域(メモリ)で単位は% (0%時、Fインジケータを表示)

FILE : 記録しているファイルの数を表示 (最大記録ファイル数: 100)

LAP : 記録しているLAP数を表示 (最大記録ファイル数: 500)

上記の一つでも、メモリ Full に当てはまると記録を停止します。(詳しくは下記のFインジケータについてをご覧下さい)

ロガー動作時の計測画面です。

計測画面には

「ラップモード」

「ラップ&スピード計」

「ラップ&タコ&スピード計」

表示の3種類があります。

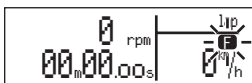
[F] インジケータ表示について

下" インジケータは、メモリ Full (最大記憶領域) を意味し、データの記録を停止する事を表します。

下" インジケータが表示される条件は以下の通りです。

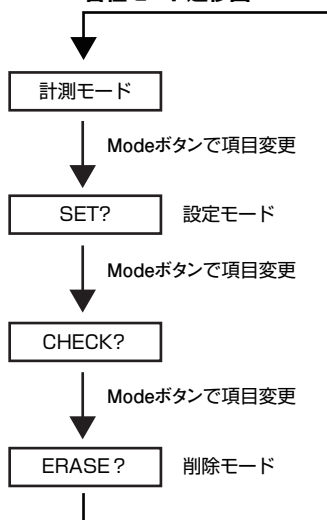
- メモリ残量が0%
- 記録ファイル数が100に達した時
- 記録ラップ数が500に達した時

上記条件にの一つでも当てはまるとFインジケータが点灯し、記録を停止します。



本体モードボタン (左端ボタン) を押す毎に、右図の様に移ります。

各種モード遷移図



計測モード: 計測動作モード。記録可能 (手動・自動記録選択可) 【No.2 参照】

設定モード: 各種設定変更モード。【No.3 参照】

チェックモード: ラップタイム確認モード。【No.4 参照】
ラップタイムデータ記録が無い時は表示されません。

削除モード: 記録データ削除モード。【No.4 参照】

各操作の詳細は操作・設定手順参照。

操作・設定手順

計測モード操作説明

通常動作モードです。

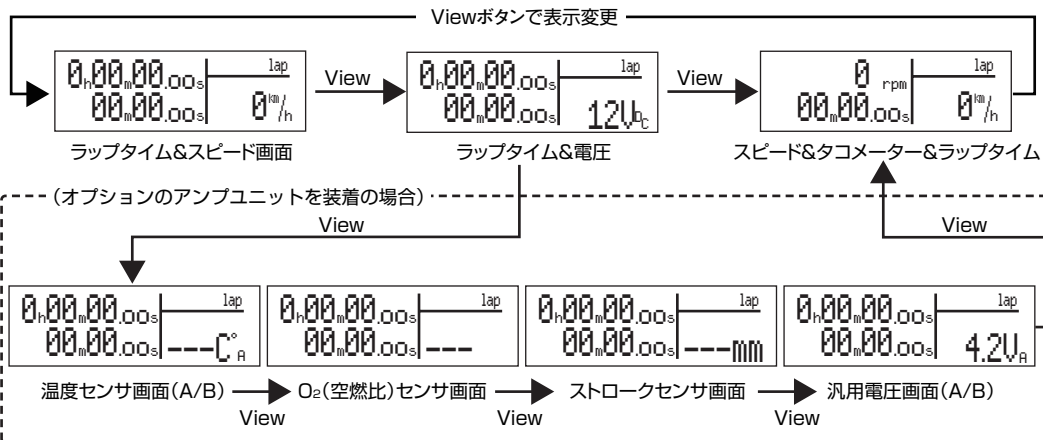
このモードでは、ラップタイム及び、各種アナログデータが表示され、データの記録開始 / 停止の操作等を行います。

計測モードでは、起動時、ラップタイム表示か、タコ&スピード表示のどちらかを標準表示とします。

どちらを標準表示とするかは、設定モードにて決定します。

表示は、View ボタン操作で切り替える事ができます。

記録方法は、マニュアルログモード (手動記録) [R] インジケータ表示、オートログモード (自動記録) [A] インジケータ表示の選択が可能です。



記録開始 / 停止

マニュアルモード (手動記録) [R] インジケータ表示

●データの記録を開始するには、Log ボタンを押します。

Log ボタン操作を認識すると、ラップタイム表示、タコ&スピード表示共に、記録中を示す "R" インジケータが表示、ラップタイム表示では、時間のカウントが始まります。

●記録中に、再度 Log ボタンを押すと、"R" インジケータが消灯、計測も停止し、データ記録が停止しデータロガー内部で、ファイルが一つ形成されます。

※データ記録中、表示の変更は可能ですが、設定変更は不可となります。

※電源を切る時は、必ずデータ記録を停止させて下さい。
データ記録中に電源を切ると、記録データ及び、機器全体の破損につながる可能性がございます。

※Mode ボタンを長押し (約2秒) で、バックライトの ON/OFF 制御を行います。

オートログモード (自動記録) [A] インジケータ表示

●View ボタンを長押しすると "A" インジケータが表示

●時速 40km/h 走行が、30 秒以上続くとデータの記録を開始します。

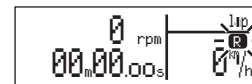
●時速 5km/h に達すると、計測も停止し、データ記録が停止しデータロガー内部で、ファイルが一つ形成されます。

※データ記録中、表示の変更は可能ですが、設定変更は不可となります。

※電源を切る時は、必ずデータ記録を停止させて下さい。

データ記録中に電源を切ると、記録データ及び、機器全体の破損につながる可能性がございます。

※Mode ボタンを長押し (約2秒) で、バックライトの ON/OFF 制御を行います。



1. Log ボタン操作で記録・カウント開始

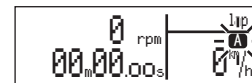
(記録中は "R" インジケータが表示)

※Mode ボタン長押しでバックライトの ON/OFF 制御

2. 再度 Log ボタン操作で、記録停止

("R" インジケータが消灯)

3. データロガー内部で、ファイルが一つ形成

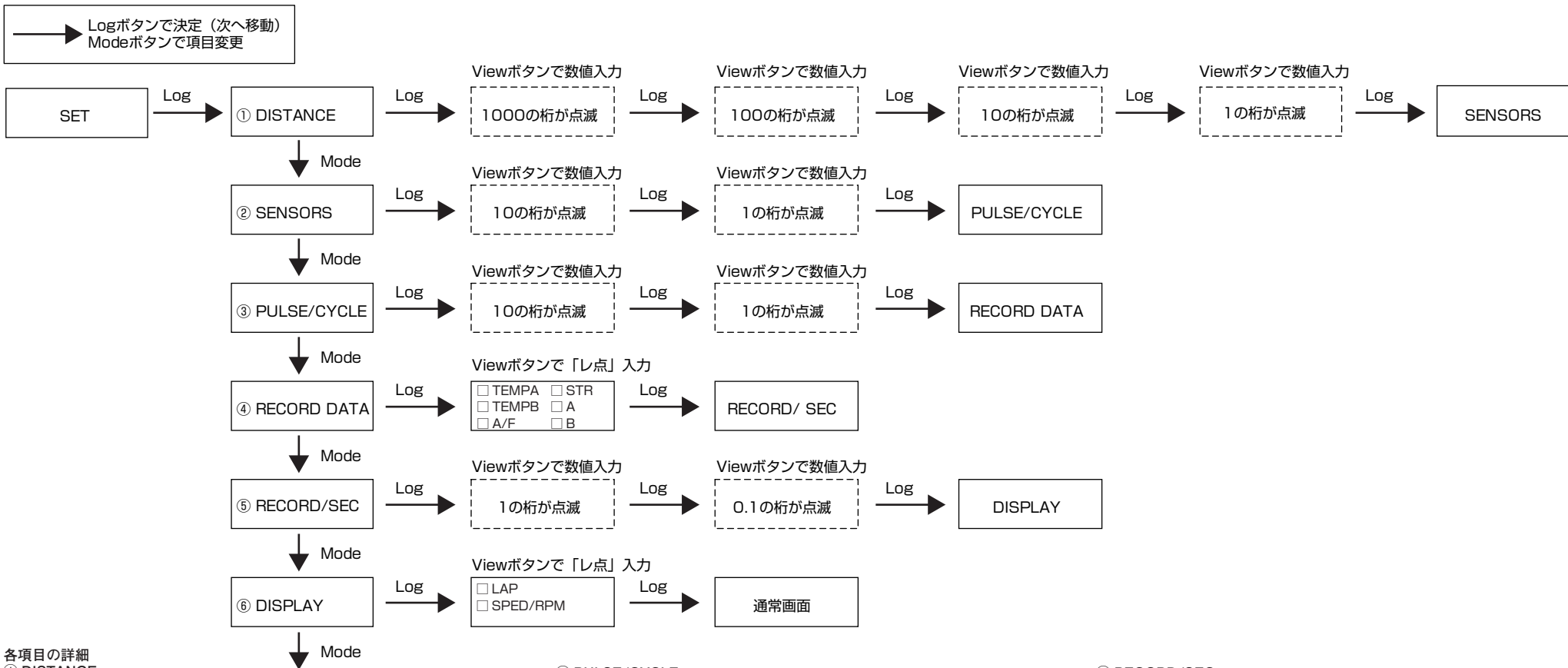


データロガー No.3/4

商品コード 762-0000000

操作・設定手順

設定モード操作説明 各種設定を行うモードです。以下に遷移図を示します。



各項目の詳細

① DISTANCE
タイヤの外周を設定します。
単位は mm で設定範囲は、0～2000 です。
速度の算出に用います。

② SENSORS
タイヤが一周した時に、付属の近接センサがローターボルト等を検出する数を設定します。
設定範囲は、1～10 です。
速度の演算に用います。
※センサの検出対象物は、等間隔で配置されている物として下さい。

③ PULSE/CYCLE
エンジンが2回転する間に、何回パルスが発生するかを設定します。
設定範囲は1～20

④ RECORD DATA
記録するデータを選択します。
データ選択画面にて、各項目先頭の、ボックスにチェック (レ点) が入っている物を記録します。
ボックスが■/□と、点減している箇所が、現在操作中の項目です。
ここで View ボタンを押すと、□内に (レ点) のチェックが入り、記録を行う項目となります。
再度、View ボタンを押すと、設定が解除されます。
Log ボタンを押すと設定が確定し、次の項目の設定に移ります。
全ての設定が完了すると、RECORD/SEC に移行します。

⑤ RECORD/SEC
データの記録周期を設定します。
単位は秒で、設定範囲は0～1です。
0を設定した場合、データ記録 OFF モードとなります。

⑥ DISPLAY
標準表示画面の設定を行います。
現在、選択している項目の□にチェック (レ点) が入ります。
ここで View ボタンを押すと、チェック (レ点) がもう一方の□と入れ替わります。
標準表示にしたい項目を選択し、Log ボタンを押すと、確定、標準表示に戻ります。

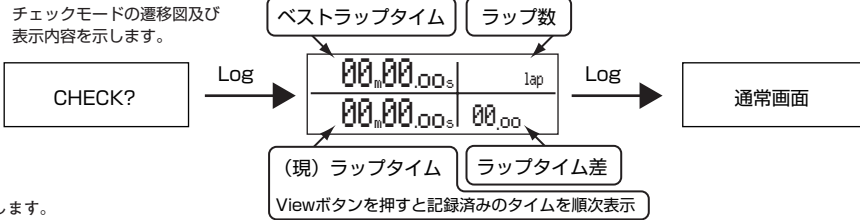
データロガー No.4/4

商品コード	762-0000000
-------	-------------

操作・設定手順

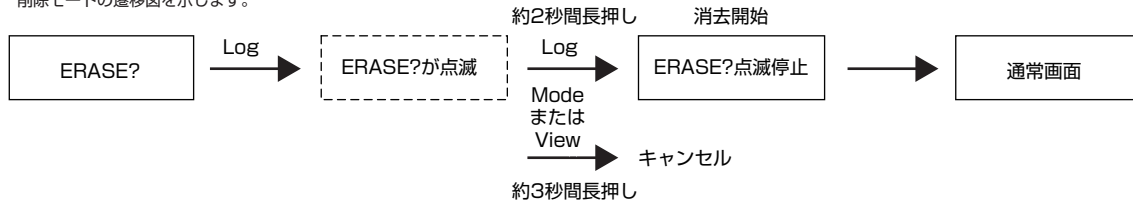
チェックモード操作説明

取得した、ラップデータを確認するモードです。ラップデータが記録されていない際は、チェックモードに入りません。ラップデータは、最大 500 ラップまで記録可能です。

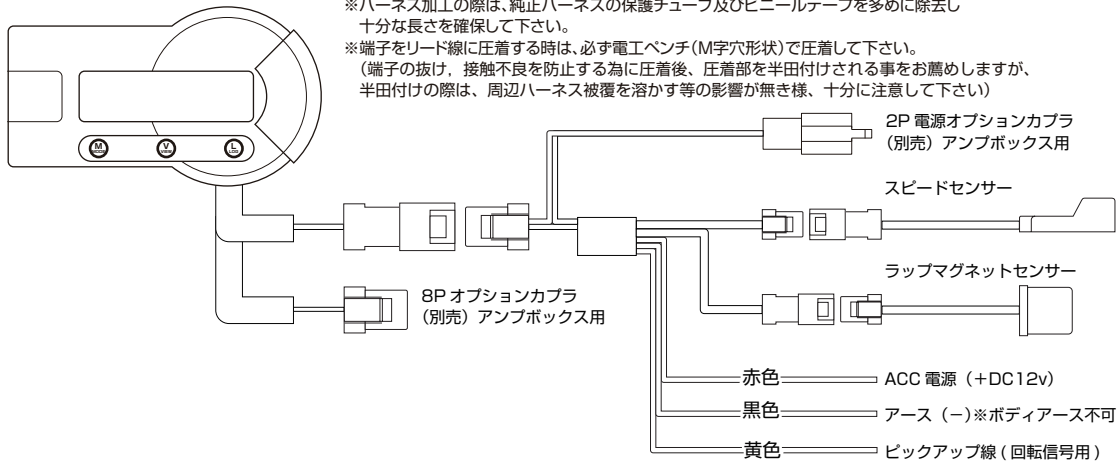


削除モード操作説明

記録したデータを、メモリから削除します。実行すると、記録したデータは全て削除されます。削除モードの遷移図を示します。



ハーネス図



▼ハーネスについて

- 赤色リード線：ACC電源 (+DC12v)
イグニッションスイッチをONにした時に電流が流れる (+) 線へ接続します。
- 黒色リード線：アース (-)
車体側のアース (-) へ接続します。(電圧が不安定になりやすいので、ボディアースはしないで下さい)
- 黄色リード線：ピックアップ線 (回転信号用)
ピックアップパルスハーネス、イグニッションコイル等に直接接続するして下さい。
推奨接続場所
CDI 点火車両の場合 : ピックアップパルス信号ハーネス
トランジスタ点火車両 : イグニッションコイル (一次コイル) ECU 側ハーネス
注意! : プラグコード等に巻き付ける方法は、絶対に行わないで下さい。

スピードセンサ・ラップマグネットセンサの取り付けについて

仕様 (スピードセンサの場合)	最大動作距離	安定検出物体
	4 ± 0.5mm (※注)	0 ~ 3mm (※注)

(※注) 最大動作距離は、標準検出物体に対する最大検出距離を示します。
安定検出範囲は、使用周囲温度や電源電圧の変動などを考慮し、標準検出物体を安定して検出できる距離範囲を示します。

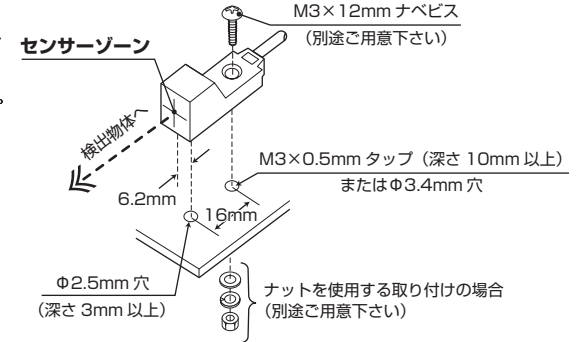
検出距離

仕様の検出距離は標準検出物体に対する値です。非鉄金属を検出する場合には、表の修正係数を乗じた値が検出距離となりますので、ご注意ください。
(※注) 検出物体が標準検出物体より小さい場合や、メッキされている場合も検出距離が変わりますのでご注意ください。

金属	修正係数
鉄	1
ステンレス (SUS304)	約 0.79
黄銅	約 0.56
アルミ	約 0.53

スピードセンサの取り付け

- スピードセンサーゾーンを検出物体に向け、上記の検出距離内でしっかりと車体に固定して下さい。
- 締め付けトルクは 0.5 N・m 以下として下さい。
- ナットを使用する場合の取付穴は、Φ 3.4mm として下さい。また、ボスを挿入する穴は Φ 2.5mm、深さ 3mm 以上として下さい。



ラップマグネットセンサの取り付け

- マグネットセンサーゾーンを路面に対して水平・垂直になるようにガムテープまたは、両面テープ等でしっかりと車体に固定して下さい。
- 設置は地上高 20cm 以内の高さに取り付けして下さい。
※スイングアーム等の取り付け位置によっては、ディスクローターやマフラーによって磁気が遮断され動作しない場合があります。
- ※車体等への取り付けで動作しない場合は、専用のステー等を作成してセンサを取り付けて下さい。
- ※熱による破損を防ぐ為、クランクケースに、直接、取り付けたりマフラーの近くに取り付けしないで下さい。

センサーゾーン

